

富山県感染症対策連携協議会の設置 及び令和 6 年度の主な取組みについて

令和 6 年 8 月 3 0 日 (金)
令和 6 年度第 1 回富山県感染症対策連携協議会

富山県感染症対策連携協議会の設置

感染症発生・まん延時における連携協力体制の強化を図るため、行政、医療機関、関係団体からなる「富山県感染症対策連携協議会」を組織（R5.6）。

○平時：連携協力体制の整備 ○有事：医療提供体制・感染対策の協議

<R6年度の主な取組み>

- 1 富山県感染症予防計画（R6.4～R12.3）の進捗状況の共有
- 2 富山県新型インフルエンザ等対策行動計画の策定や訓練に係る情報共有
- 3 感染症対応に係る構成員の取組みの共有

< 医療機関 >

県立中央病院、黒部市民病院、富山市民病院、高岡市民病院、市立砺波総合病院、富山大学附属病院、厚生連高岡病院

< 行政 >

富山県・富山市 予防計画
厚生センター } 健康危機対処計画（部会）
富山市保健所 }
県衛生研究所 }
新潟検疫所富山空港出張所

< 関係団体 >

県公的病院長協議会、県医師会、
県看護協会、県薬剤師会、県歯科医師会、
県医薬品卸業協同組合、県消防長会、
全日本病院協会富山県支部



令和6年度の主な取組みについて

※金額はR6県当初予算

感染症の発生の予防・まん延防止のための施策	感染症に係る医療を提供する体制等の確保	感染症の予防に関する人材の養成及び資質の向上
<p>(1)R6感染症対策連携協議会 82万円 ①8/30、行動計画素案意見照会、②R7.3書面</p> <p>(2)感染対策支援専門家派遣事業 150万円 社会福祉施設や医療機関等に対し、感染管理認定看護師等による「アウト」・助言、研修・出前講座 研修・出前講座は医療関連サービス事業者も対象</p> <p>(3)新型インフルエンザ等対策行動計画の見直し 新型インフルエンザ等対策政府行動計画の改正を踏まえ、県の行動計画を見直し</p> <p>(4)新型インフルエンザ等対策訓練 144万円 R6.11.8 市立砺波総合病院 新型インフルエンザ疑い患者を病院に救急車搬送、発熱外来受診、感染症病棟へ搬入。PPE着脱訓練</p> 	<p>(1)第一種感染症病床整備支援事業 1億2,620万円 第一種感染症病床の強化及び複数拠点化 ・県立中央病院 2床→3床 ・富山大学附属病院 1床新設</p> <p>(2)医療措置協定の締結など 医療機関、薬局、訪問看護事業所との医療措置協定、民間検査機関、民間宿泊業者との協定 ・病床確保、発熱外来は目標数に到達 ・訪問診療・訪問看護等は9割に到達 ・訪問服薬指導は目標数に到達 ・検査、宿泊施設の確保は目標数に到達</p> <p>(3)協定締結医療機関に対する施設・設備支援 ①新興感染症対応力強化事業 1億3,662万円 ・施設整備 17件 病室の感染対策(陰圧装置)、多床室の個室化、個人防護具保管庫 ・設備整備 38件 簡易陰圧装置、PCR検査装置、簡易ベッド、HEPAフィルター付き空気清浄機</p> <p>②新型インフルエンザ等感染症患者受入医療機関における施設・設備整備 985万円 ・発熱外来整備 1件</p>	<p>(1)富山県地域医療再生修学資金貸与事業 (医務課) 3,960万円 医学生向けの修学資金制度の対象について県外出身者に拡充するとともに貸与額を増額(後期コースの特定診療科の一つは感染症内科)</p> <p>(2)看護職員育成研修支援事業 (医務課) 900万円 今後の感染症危機対応に備え、感染管理認定看護師に特化した優先枠の設定を行い、認定看護師及び特定行為研修修了者の確保の促進と有事の体制強化に繋げる</p> <p>(3)院内感染地域支援ネットワーク事業 (医務課) 209万円 医療機関において感染対策専門員の養成や院内感染対策に精通する外部専門家による助言・実施指導を行うほか、院内感染に係る相談窓口を設置し、発生時に対応にあたる</p> <p>(4)IHEAT要員人材育成事業 68万円 健康危機発生時に厚生センター・保健所の業務を支援するIHEAT要員に対し研修を実施 ・登録者：R6.3 10人 →R6.8 34人 ・R6：eラーニング、10/21伝達訓練、11/8新型インフルエンザ等対策訓練見学</p>